

第47回腎癌研究会（25周年記念大会）スケジュール

会場：品川インターシティホール

日時：平成28年7月9日（土）8：30－16：55

8：30-8：35 開会挨拶（5分）

8：35-11：15 Oral Session（160分）

Oral Session1「基礎の解析」

座長：馬場 理也（熊本大学 国際先端医学研究機構）

※一般演題：O-1～5

Oral Session2「バイオマーカー、診断」

座長：小原 航（岩手医科大学 泌尿器科）

※一般演題：O-6～10

Oral Session3「手術」

座長：杉山 貴之（浜松医科大学 泌尿器科）

※一般演題：O-11～15

Oral Session4「転移性腎癌」

座長：高橋 俊二（がん研有明病院 総合腫瘍科）

※一般演題：O-15～20

11：15-11：45 教育セミナー

座長：大家 基嗣（慶應義塾大学 泌尿器科）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

11：45-12：30 休憩・総会（45分）

12：30-13：40 Sponsored International Session（70分）

Chair：Yoshihiko Tomita（Niigata University）

共催：ファイザー株式会社

13：40-14：50 International Session（70分）

Chair：Hideyasu Matsuyama（Yamaguchi University）

14：50-15：50 休憩・Poster Session（60分）

Poster Session1「手術」

座長：山田 裕紀（東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 泌尿器科）※一般演題：P-1～6

Poster Session2「薬物治療 副作用」

座長：神波 大己（京都大学 泌尿器科）

※一般演題：P-7～12

Poster Session3「転移性腎癌 治療」

座長：納谷 幸男（帝京大学ちば総合医療センター 泌尿器科）

※一般演題：P-13～18

Poster Session4「薬物治療 逐次療法」

座長：山口 雷蔵（帝京大学 泌尿器科）

※一般演題：P-19～23

Poster Session5「非淡明細胞癌、症例」

座長：三宅 秀明（浜松医科大学 泌尿器科）

※一般演題：P-24～29

15：50-16：50 Symposium「診断・治療で難渋した症例」（60分）

座長：篠原 信雄（北海道大学 泌尿器科）、浅野 友彦（防衛医科大学校 泌尿器科）

共催：バイエル薬品株式会社

16：50-16：55 閉会挨拶（5分）

第47回腎癌研究会（25周年記念大会）プログラム

Oral Session1「基礎的解析」

8:35-9:15

座長：馬場 理也（熊本大学 国際先端医学研究機構）

- O-1 Rhabdoid-like featuresを有する腎細胞癌は細胞質内封入体を欠失しており急速な進行を示す
杉本 昌顕（九州大学 泌尿器科）
- O-2 GPNMBはTFE3活性化腎細胞癌の診断マーカーとして有用である 馬場 理也（熊本大学 国際先端医学研究機構）
- O-3 淡明細胞型腎癌でのglycerol-3-phosphate dehydrogenase（GPDH）遺伝子発現の検討
高岡 直央（浜松医科大学 泌尿器科）
- O-4 腎細胞癌の予後を糖代謝の視点から検討する 別納 弘法（獨協医科大学 泌尿器科）
- O-5 腎癌抑制遺伝子FLCNにおけるミスセンス変異の病原性についての検討 蓮見 壽史（横浜市立大学 泌尿器科）

Oral Session2「バイオマーカー、診断」

9:15-9:55

座長：小原 航（岩手医科大学 泌尿器科）

- O-6 Cachexiaとの関連からみた腎細胞癌におけるbody mass index値の臨床的意義
渡邊 大祐（防衛医科大学校 泌尿器科）
- O-7 腎細胞癌におけるM2マクロファージ浸潤はC-reactive proteinと相関する 中山 貴之（東京医科歯科大学 泌尿器科）
- O-8 腫瘍径と腎生検に基づく小径腎腫瘍診断アルゴリズムの精度を更に改善させることは可能か？～年齢、性別、および
R.E.N.A.L. Nephrometry Score (RNS)を加えた検討～ 大澤 崇宏（北海道大学 泌尿器科）
- O-9 腎細胞癌組織内に浸潤する免疫担当細胞発現に腫瘍間・腫瘍内多様性は存在するのか？
河嶋 厚成（大阪大学 泌尿器科）
- O-10 小径腎腫瘍における脂肪成分の少ない腎血管脂肪腫の診断アルゴリズム作成
田中 一（東京医科歯科大学 泌尿器科）

Oral Session3「手術」

9:55-10:35

座長：杉山 貴之（浜松医科大学 泌尿器科）

- O-11 Stage4慢性腎臓病患者の腎細胞癌に対する腎部分切除術と根治的腎摘除術後の維持透析導入への比較検討
高木 敏男（東京女子医科大学 泌尿器科）
- O-12 3D画像血流評価システムを用いたロボット支援下腎部分切除術後の残腎機能予測モデルの検討
眞砂 俊彦（鳥取大学 泌尿器科）
- O-13 術前尿蛋白が開腹腎部分切除後の腎機能低下に与える影響：単腎患者における検討
橘 秀和（東京女子医科大学 泌尿器科）
- O-14 腎癌骨転移に対する積極的局所治療は生命予後改善に寄与するか？
福島 啓司（がん・感染症センター都立駒込病院 泌尿器科）
- O-15 Glasgow Prognostic Scoreは転移性腎癌に対してCytoreductive Nephrectomyを行った場合の予後予測因子になりえる
福田 洋典（東京女子医科大学 泌尿器科）

Oral Session4「転移性腎癌」

10:35-11:15

座長：高橋 俊二（がん研有明病院 総合腫瘍科）

- O-16 転移性腎癌に対するIMA901ワクチン療法の本邦第I/II相臨床試験 本郷 文弥（京都府立医科大学 泌尿器科）
- O-17 2次治療としてaxitinibを導入した転移性腎細胞癌117症例の治療成績 三宅 秀明（浜松医科大学 泌尿器科）
- O-18 サルコペニアとmGPSは転移性腎癌に対する1st-lineスニチニブ治療後の独立した予後予測因子である
石原 弘喜（東京女子医科大学 泌尿器科）
- O-19 転移性腎癌における分子標的薬治療開始後、早期のC反応性蛋白(CRP)の値の推移と予後の関係
安田 庸輔（JAとりで総合医療センター 泌尿器科）
- O-20 経口分子標的治療を継続している進行性腎がん患者の支えとなる体験 高山 千春（群馬大学 泌尿器科）

教育セミナー

11:15-11:45

座長：大家 基嗣（慶應義塾大学 泌尿器科）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

E-1 「分子標的薬剤治療後の腎癌の病理学的変化 —TKIは腫瘍血管にどのような変化をもたらすのか—」

都築 豊徳（愛知医科大学 病院病理部）

Sponsored International Session

12:30-13:40

Chair：Yoshihiko Tomita（Niigata University）

共催：ファイザー株式会社

SI-1 Current Status of Systemic Therapy for metastatic renal cell carcinoma

Alain Ravaud（Bordeaux University Hospital, Bordeaux, France）

Discussants：Tsunenori Kondo（Tokyo Women's Medical University）, Masayuki Takahashi（Tokushima University）,

Katsunori Tatsugami（Kyushu University）

International Session

13:40-14:50

Chair：Hideyasu Matsuyama（Yamaguchi University）

I-1 Ischemia During PN: Does it Cause AKI and Does it Impact Functional Recovery?

Steven C. Campbell（Cleveland Clinic）

Discussants：Kazutaka Saito（Tokyo Medical And Dental University）, Toshio Takagi（Tokyo Women's Medical University）,

Fumiya Hongo（Kyoto Prefectural University Of Medicine）

Poster Session1「手術」

14:50-15:30

座長：山田 裕紀（東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 泌尿器科）

P-1 術中輸血が腎癌の生存率に及ぼす影響

小谷 桂子（東京女子医科大学 泌尿器科）

P-2 心房に達する下大静脈腫瘍栓を伴う腎細胞癌に対してアキシチニブによる術前治療を行った3例

神鳥 周也（筑波大学 泌尿器科）

P-3 ロボット支援下腎部分切除術後の腎機能低下例に関する検討

羽田 圭佑（東京女子医科大学 泌尿器科）

P-4 周術期の管理に難渋した腎細胞癌IVC腫瘍塞栓の臨床的検討

新藤 貴雄（日本医科大学 泌尿器科）

P-5 急速な経過を取り癌死した肝直接浸潤を伴う腎細胞癌の1例

小林 進（旭川医科大学 泌尿器科）

P-6 転移性腎癌に対し集学的治療をおこなった腎移植患者の1例

杉山 貴之（浜松医科大学 泌尿器科）

Poster Session2「薬物治療 副作用」

14:50-15:30

座長：神波 大己（京都大学 泌尿器科）

P-7 転移性腎細胞癌患者におけるVEGF阻害薬不耐容に関連する因子の検討

高松 公晴（埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器科）

P-8 Nephrotoxicity induced by long term administration of VEGFR inhibitors for metastatic renal cell carcinoma

大木 遼佑（虎の門病院 臨床腫瘍科）

P-9 ソラフェニブ、スニチニブの腎機能への影響の検討

寺井 一隆（帝京大学 泌尿器科）

P-10 腎細胞癌に対する分子標的薬治療中に発生した腸管気腫症の2例

佐倉 雄馬（香川大学 泌尿器科）

P-11 Sunitinib投与後の血小板輸血にて早期に抗HLA抗体産生による血小板輸血不応状態を示した転移性腎癌の2例

稲津 宏紀（平成立石病院）

P-12 腎癌に対する分子標的薬治療中に重篤な有害事象を認めた3症例

福田 敦史（産業医科大学 泌尿器科）

Poster Session3 「転移性腎癌 治療」

14:50-15:30

座長：納谷 幸男（帝京大学ちば総合医療センター 泌尿器科）

- | | |
|---|----------------------|
| P-13 腎癌転移巣切除の予後について | 浜崎 和代（東京女子医科大学 泌尿器科） |
| P-14 分子標的治療における転移巣別治療成績 | 玉田 聡（大阪市立大学 泌尿器科） |
| P-15 転移性腎細胞癌に対する分子標的薬治療の効果予測としてのNLRの意義 | 原 秀彦（杏林大学 泌尿器科） |
| P-16 進行腎癌に対するアキシチニブ投与におけるNLRの検討 | 小野田充敬（岩手医科大学 泌尿器科） |
| P-17 治療薬物モニタリングを用いたSunitinib隔日投与の有用性の検討 | 大庭康司郎（長崎大学 泌尿器科） |
| P-18 5年以上分子標的療法を施行した転移性腎癌の検討 | 望月 保志（長崎大学 泌尿器科） |

Poster Session4 「薬物治療 逐次療法」

14:50-15:23

座長：山口 雷蔵（帝京大学 泌尿器科）

- | | |
|---|--------------------|
| P-19 進行性腎細胞癌におけるアキシチニブの腫瘍縮小率と生存期間の関連性の検討 | 高橋 正幸（徳島大学 泌尿器科） |
| P-20 分子標的薬の逐次投与を施行された転移性腎細胞癌の予後における1st line薬剤の効果の意義 | 亭島 淳（広島大学 泌尿器科） |
| P-21 進行性腎細胞癌に対してチロシンキナーゼ阻害薬後にエベロリムスを使用した症例の検討 | 水野 隆一（慶應義塾大学 泌尿器科） |
| P-22 転移性腎細胞癌に対するアキシチニブの治療効果予測因子に関する検討 | 小林 郁生（愛知医科大学 泌尿器科） |
| P-23 当院における進行性腎細胞癌に対するアキシチニブの初期治療経験について | 山本 義明（山口大学 泌尿器科） |

Poster Session5 「非淡明細胞癌、症例」

14:50-15:30

座長：三宅 秀明（浜松医科大学 泌尿器科）

- | | |
|--|-----------------------------|
| P-24 淡明細胞癌及び乳頭状腎細胞癌type2における癌特異的生存率の比較検討 | 佐藤 泰之（東京女子医科大学 泌尿器科） |
| P-25 Xp11.2転座型腎細胞癌に対する分子標的剤の使用経験 | 佐々 直人（名古屋大学 泌尿器科） |
| P-26 転移性腎癌に対するパゾパニブ治療の臨床的検討 | 吉田 哲也（滋賀医科大学 泌尿器科） |
| P-27 転移・再発をきたした高異型度腎Mucinous Tubular and Spindle Cell Carcinomaと考えられる2症例 | 山崎 俊成（京都大学 泌尿器科） |
| P-28 術前診断に苦慮したBellini管癌の一例 | 徳山 尚斗（東京医科大学 茨城医療センター 泌尿器科） |
| P-29 多発肺、リンパ節転移が自然退縮した淡明型腎細胞癌の1例 | 佐塚 智和（千葉大学 泌尿器科） |

Symposium 「診断・治療で難渋した症例」

15:50-16:50

座長：篠原 信雄（北海道大学 泌尿器科）、浅野 友彦（防衛医科大学校 泌尿器科）

共催：バイエル薬品株式会社

- | | |
|---|--|
| S-1 薬物療法の継続投与に難渋し、転移巣切除を行った転移性腎癌の2例 | 深沢 賢（千葉県がんセンター 泌尿器科） |
| S-2 複雑な経過をたどり診断に難渋した嫌色素性腎細胞癌oncocytic variantの1例 | 巢山 貴仁（帝京大学ちば総合医療センター 泌尿器科） |
| S-3 免疫病理学的検査のみでは診断し得なかった若年発症の嫌色素性腎細胞癌腫瘍内Xp11.2転座型腎細胞癌 | 石橋 啓（福島県立医科大学 泌尿器科） |
| S-4 前立腺癌全摘除術後の経過観察中に転移性骨腫瘍で発見された12mm小径腎細胞癌の一例 | 森田 順（昭和大学 泌尿器科） |
| S-5 腎部分切除後、局所再発腫瘍が急速に増大し十二指腸浸潤を来した症例 | 一腎部分切除後の対応の反省—
近藤 恒徳（東京女子医科大学 泌尿器科） |
| S-6 腎癌に対するablation後にtract seedingを発症した2症例の経験 | 武内 在雄（九州大学 泌尿器科） |